

楽しく豊かな学級・学校生活を築くために

名古屋市学校教育研究会
特別活動研究部 会長
大島 吉雅



心の教育、命の教育の重要性が改めて叫ばれており、今大切なのは、道徳、特別活動の適切な指導だとも言われています。

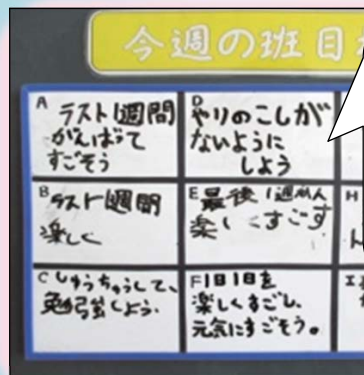
特別活動は、子どもたちの自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど、子どもたちの成長に欠かすことのできない教育活動です。

特に学級活動の時間は、学級みんなで行うことの楽しさや自分だけでは本当の幸せ感を得られないことなど、人間としての基本を学ぶ場でもあります。そんな特別活動を大切に、子どもたちとともに、楽しく・豊かな学級・学校生活を築き上げていきたいものです。

アイデアコーナー

温かい雰囲気を作りたいなあ。そんな時には、頑張りや生活体験を共有しましょう！！

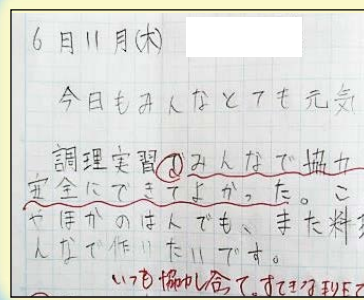
背面黑板や班ノートを活用しましょう！



背面黑板

- ・毎週、生活班で話し合い班目標を決める。
- ・帰りの会で班目標を振り返り、頑張り認め合う。

〇〇さんは、一日授業に集中していたよ。見習います。



班ノート

- ・生活班内で回す。
- ・一日のできごとを記入。
- ・帰りの会に提出。

こんな実践を見つけました！

児童会役員だけでなく、全校児童が主体的に活動に取り組めるように。そこで…

活動例 あいさつ運動を盛り上げるには？

1 思い発見

児童に、あいさつ運動を通して、どんな学校にしたいか、そのために何をするとよいかなど、思いを調査。アンケートを各学級で実施し、結果を基に原案を作成する。

- ・ハイタッチしたい。
- ・アーチを通りたい。
- ・笑顔がほしい。

2 思い発展

原案に基づいて代表委員会で話し合い、活動計画を立てる。「みんなが参加可能」「実現可能」、この2点を意識して話し合う。

- ・アーチを使って盛り上げ、みんなを笑顔に！
- ・終業式までのカウントダウン掲示。

3 思い発信

決まったことを児童に伝え、あいさつ運動を開始！



アーチを通して笑顔で登校。

いつもと少しちがうだけで、みんなの反のうも変わっていたのでいいと思いました。

【代表委員の感想】

全校児童の思いを受け止め、児童会活動に生かすようにしたことで、多くの児童が、「学校をよくするために、私たちにもできることがある」と感じてくれたようです。新しいアイデアが生まれました。

千音寺小学校 福島 克 先生



特別活動を学び合おう 【6月19日】

「話し合い」「係」「児童(生徒)会」で困った！

各部会で、次のことが話題になり、アドバイスをしました。

① 低学年の児童に、話し合い活動はできますか？

できます。話の聞き方、話し方、話し合いの流れなどを、先生がモデルとなりながら丁寧に指導していきます。話し合う人数としては、ペア、小グループ、学級全体などを効果的に組み合わせで指導します。

② 係活動を活性化させるためには、どうすればいいですか？

他学級の係活動の様子を調べたり、活動紹介をしたりすることで、活動の視野を広げます。朝の学級の時間や、給食の時間を活用したり、係が使う道具を教室に準備したりすることも大切です。

③ 児童(生徒)会活動に全校の子どもを参加させたいのですが…

「参加できない」原因を整理します。その上で、先生方に協力を求めたり、活動内容・進め方を見直したりするなどの対策を講じます。

特別活動実技研修会 【8月6日】

「なすことによって学ぶ」それが特別活動！体験を学級経営に生かしましょう

暑い中、多くの先生方が集まり、研修を深めました。話し合い活動の進め方を学びました。

前半 望ましい人間関係を築こう

簡単に取り組めるアイスブレイクを紹介しました。



リズムに合わせて『よろしくゲーム』

学級開きや、学期始めに、子どもたちの気持ちをほぐしたり、温めたりします。

ポイント

しばしば「アイスブレイク＝遊び」と誤解されますが、明確なねらいをもって行うことが大切です。「人間関係づくり」「休憩」「心のストレッチ」など、アイスブレイクには大切な役目があります。

後半 模擬学級会を体験しよう！

「学級の歌をつくろう(5年生)」という議題で話し合いました。

歌詞の決め方は？

各グループの意見を、すべて歌詞として取り入れることで歌に対する愛着が深まることになりました。

もし、意見が分かれたら？

どのように歌うか話し合いましたが、意見が分かれました。このような場合は、「実際に歌ってから考えよう」と、別の視点を与える助言をするとよいことが分かりました。

